

事故・障害発生状況

事故や障害を分析し、安全確保の取り組みにつなげています。
不測の事故や障害が発生した場合には、
原因を分析、追究し
根本的な解決策を講じています。

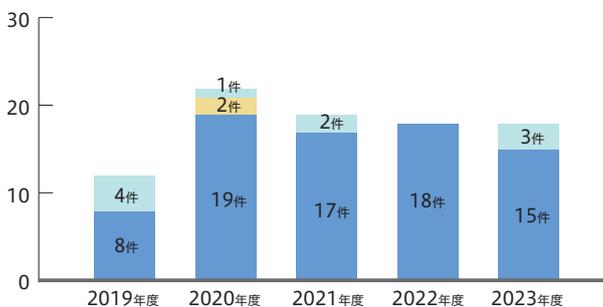
事故・障害

事故・障害の発生状況

列車運行の安全性を高めるため、保安設備の設置や保守点検作業の質の向上などを図っていますが、不測の事故や障害が発生することがあります。東急線全線で2023年度に発生した鉄道運転事故は3件、輸送障害は15件でした。輸送障害のうち自社起因の7件について、引き続き再発防止に取り組んでいくとともに、今後もホームや踏切での事故防止に努めていきます。

● 鉄道運転事故、インシデント、輸送障害の件数

過去5年間に当社線で発生した鉄道運転事故、インシデント、輸送障害の件数です。



- 鉄道運転事故:** 列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故(列車または車両の運転によりお客さまの死傷を生じた事故)、鉄道物損事故に該当するもの。
- インシデント:** 鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態のこと。
- 輸送障害:** 鉄道による輸送に障害を生じた事態(列車の運転を休止したもので、または30分以上の遅延を生じたもので、鉄道運転事故以外のもの)。

輸送障害等の事象

【事象】輸送障害：三軒茶屋変電所機器故障

渋谷駅～梶が谷駅間で停電が発生
 〈発生日時〉2022年10月20日(木) 17時56分ごろ
 〈発生場所〉田園都市線三軒茶屋駅
 〈運休区間〉田園都市線 渋谷駅～中央林間駅
 大井町線 二子玉川駅～溝の口駅
 〈支障時分〉3時間24分 ※駅間停車列車救援のため
 〈運休本数〉田園都市線144本、大井町線66本

- 〈影響人員〉約141,600名
- 〈原因〉三軒茶屋変電所内の高速度遮断器に、異常電流の流れ込みが発生していた。これにより設計上の回数を超過して使用され当該機器が破損
- 〈対策〉①異常電流が当該高速度遮断器へ流れ込むことを防止する電力管理システムの改修を実施中
 ②当該高速度遮断器の検査周期を短縮
 ③駅間停車列車を救援する可搬式予備蓄電池を配備済み(支障時分短縮)
 ④当該輸送障害事象の伝承



【事象】輸送障害：日吉駅構内での線路発煙

日吉駅構内のレール絶縁継目から発煙
 〈発生日時〉2023年5月31日(水) 8時26分ごろ
 〈発生場所〉日吉駅構内
 〈運休区間〉東横線 武蔵小杉駅～菊名駅
 目黒線・東急新横浜線 武蔵小杉駅～新横浜駅
 〈支障時分〉6時間4分
 〈運休本数〉東横線209本、目黒線153本、東急新横浜線142本
 〈影響人員〉約171,800名
 〈原因〉東急新横浜線開業後に複数路線間にレール電圧差が発生し、列車が通過する際に火花が断続的に発生し絶縁部がショートした
 〈対策〉路線間のレール電圧差を低減する装置を設置し、その効果について有効性を検証中。さらに調査を継続し必要な対策を立案予定

